

目標 1人1台端末を積極的に活用し、平時、有事を問わず、多様な子供たちを誰一人取り残すことのない、公正に個別最適化された学びを推進する。

全国に
先駆け
で実践

Society5.0に活躍するチェンジメーカーの育成

新時代に対応した資質能力の育成

先端技術の活用による学びの変革

- 多様な教材（動画、画像、資料など）を利用することで学びの深化
- Web会議を利用した海外等との学習活動による知見を広め、国際感覚育成
- AI・ビッグデータを活用した個別最適化された学びの実現
- 高等教育機関との連携による探究型教育の充実
- 特別な支援を必要とする児童生徒の資質・能力の育成
- オンライン教育による平時・有事を問わない学びの連続性確保

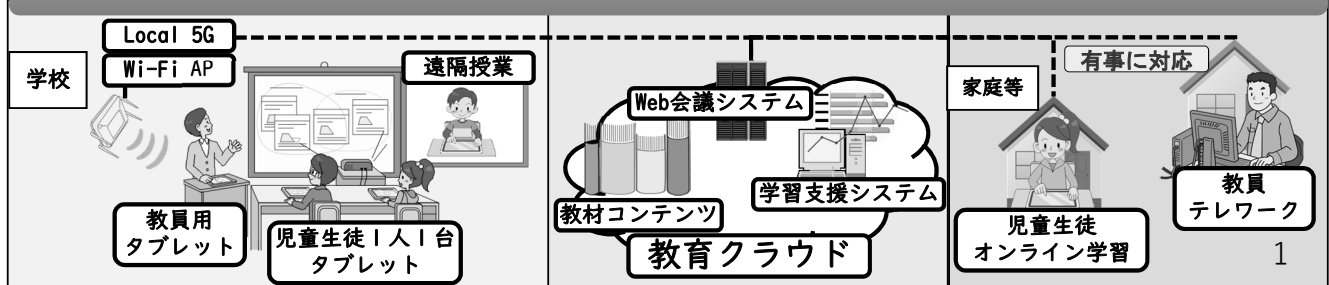


発達段階に応じた施策の実施

授業の変革による児童生徒の学びを深化

全国屈指の光ブロードバンド環境を活用したICT環境を小中高特別支援学校に一体的に整備

ネットワーク基盤 高速大容量のネットワーク、各普通教室等へのWi-Fi環境整備



徳島県GIGAスクール構想推進本部の設置

1 設置の趣旨

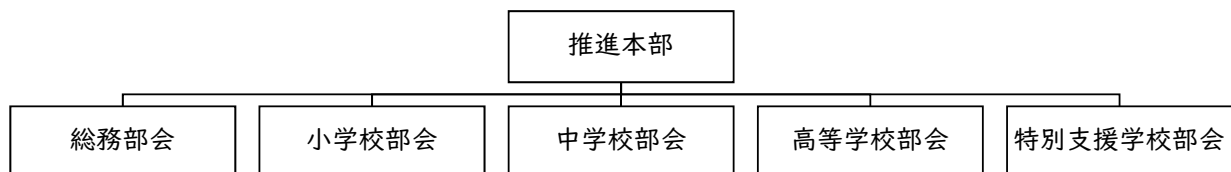
1人1台端末を積極的に活用し、平時、有事を問わず、すべての児童生徒に一貫した学びの機会を保障するとともに個別最適化された教育を推進するため、「徳島県GIGAスクール構想推進本部」を設置し、EdTechモデル校での取組状況をふまえながら検討を進め、具現化を図る。

2 構成(21名)

本部長:教育長

副本部長:徳島県市町村教育委員会連合会会長、副教育長

本部長:県教育委員会事務局及び関係団体で構成



※構想実現のための具体的な取組等は、実務者で構成する部会を設置し検討
主な部会メンバー:県教育委員会、市町村教育委員会(徳島市、阿南市)、小・中・県立EdTechモデル校など

3 推進本部スケジュール

- 7月 : 第一回推進本部及び部会の開催
- 9月下旬 : 第二回推進本部開催(各部会から中間報告) ※検討内容の発信
- 12月上旬 : 第三回推進本部開催(各部会から最終報告) ※検討内容の発信
- 1月～ : 授業手法の提示及び指導事例、次年度の研修計画等を作成し、
全教員への研修(端末アプリ操作等)
※現場の工夫、新しい技術やアイデアを取り込み、定期的に見直し

徳島県GIGAスクール構想推進事項

1 共通アプリケーション等の検討・導入

現在, 県下全校で使用されている副教材及び辞書等のアプリケーションや教育クラウドサービスを調査し, アプリケーション及び教育クラウドサービスの共同利用の検討・導入(導入及び運用コストを削減)

2 授業・学習方法の検討(研修計画も含む)

- ① デジタル教科書の活用及び教職員が作成した教材の活用など, 教科ごとの指導事例の作成等, ICTを積極的に活用した授業のベースラインの設定
- ② 教育クラウドの活用や, 他校や大学等を含む外部機関との共同授業等の研究
- ③ 土日や夏季休業時等の家庭学習における1人1台端末の活用方法

3 危機管理対策(緊急時の授業方法検討)

- ① 新型コロナウイルス感染症の再流行や大規模災害を見据え, 学校と家庭を結んだ児童生徒の健康確認, 動画配信やオンライン授業等, 学びの保障についてのあり方を検討(事例検証等)
- ② 家庭の通信環境の確保対策 ※原則家庭でWi-Fi環境を確保

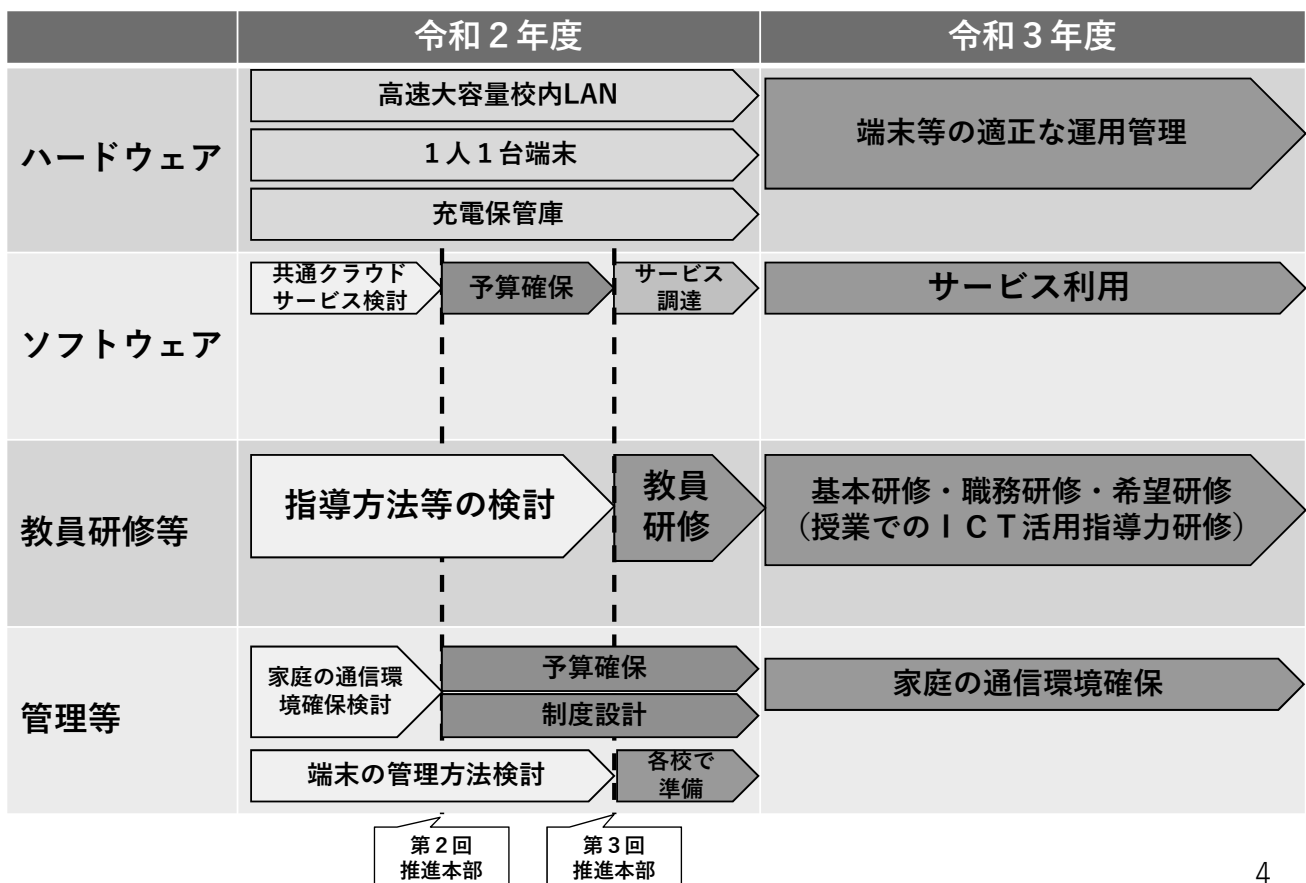
4 端末等の管理方法の検討(事務局で検討)

端末等の保管, 貸出, メンテナンス, 保証等の管理ルールについてのモデル案の検討

上記の検討事項は部会を設置し、部会間で検討結果を連携・調整の上
推進本部で報告

3

構想スケジュール



4